

2030年を展望した医療と社会

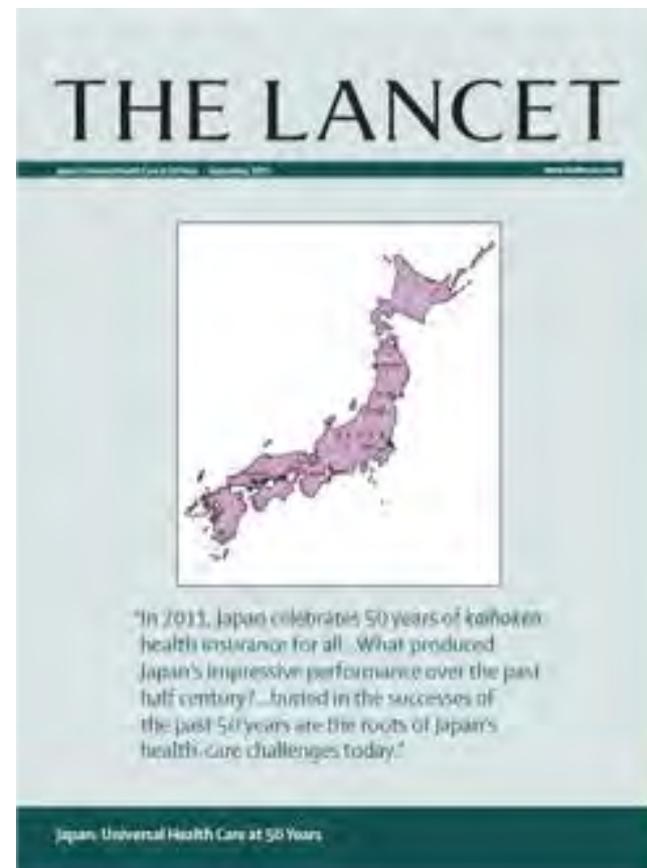
経済財政諮問会議 2030年展望と改革タスクフォース

2016年10月20日

小野崎 耕平

- 保健医療ニーズの増大、社会環境・価値の多様化、格差の増大、グローバル化の進展
- 単なる負担増と給付削減による現行制度の維持ではなく、価値・ビジョンを共有し、「社会システム」としての保健医療の再構築が必要
- 保健医療におけるイノベーション(新たな社会価値の創造)を通じて我が国の経済成長や発展の主軸として寄与
- 財政再建にも真摯に向き合い、日本の経済財政に積極的に貢献
- 少子高齢社会を乗り越え、これから高齢化に直面する国際社会をリードすることで、健康長寿大国としての地位を確立

- 「日本の保健医療制度は日本国民のみならず、世界の人々の健康のバロメーターであるという点でも、きわめて重要である。」
- 「日本は大変なソフトパワーを持っている。世界における確固たる地位を確保する努力と国内での政策を改善する力を発揮しようとしている。」



単なる負担増と給付削減による現行制度の維持を目的とするのではなく、イノベーションを活用したシステムとしての保健医療を再構築し、経済財政にも貢献

保健医療のパラダイムシフト

これまで

2035年に向けて

量の拡大

質の改善

インプット中心

患者の価値
中心
(アウトカム)

行政による
規制

当事者による
規律

キュア中心

ケア中心

発散

統合

具体的なアクション(例)

- ヘルスケアデータネットワークの確立・活用
(公的データなどの医療等IDによる連結)
- アウトカム指標に基づく報酬体系への移行
- 過剰医療の削減や医療サービスのベンチマーキング
- 上記による、患者の主体的な選択の支援
- 保健医療・介護の資源配分の地域による決定とそのための方衆衛生・政策人材の育成
- 「健康への投資」による生活の質と社会的な生産性の向上
- 「たばこフリー」オリンピックの実現
- グローバルリーダーシップの確立(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジや健康安全保障)

GOAL 目標

人々が世界最高水準の健康、医療を享受でき、安心、満足、納得を得ることができる持続可能な保健医療システムを構築し、我が国及び世界の繁栄に貢献する。

PRINCIPLES 基本理念

公平・公正（フェアネス）

自律に基づく連帯

日本と世界の繁栄と共生

VISION 2035年の保健医療が実現すべき展望

LEAN
HEALTHCARE
リーン・ヘルスケア

1

保健医療の
価値を高める

LIFE
DESIGN
ライフ・デザイン

2

主体的選択を
社会で支える

GLOBAL
HEALTH LEADER
グローバル・
ヘルス・リーダー

3

日本が世界の
保健医療を牽引する

INFRASTRUCTURE ビジョンを達成するための基盤

イノベーション環境

情報基盤の整備と活用

安定した保健医療財源

次世代型の保健医療人材

世界をリードする
厚生労働省

20年後の保健医療システムを構築する3つのビジョンとアクション

目標

人々が世界最高水準の健康、医療を享受でき、安心、満足、納得を得ることができる持続可能な保健医療システムを構築し、我が国及び世界の繁栄に貢献する。

基本理念

公平・公正（フェアネス）

自律に基づく連帯

日本と世界の繁栄と共生

2035年に達成すべき3つのビジョンとアクション

LEAN

HEALTHCARE リーン・ヘルスケア

1 保健医療の価値を高める

- 患者にとっての価値を考慮した新たな報酬体系
- 現場主導による医療の質の向上支援（過剰医療や医療事故の防止など）
- 「ゲートオープナー」としてのかかりつけ医の育成・全地域への配置

LIFE

DESIGN ライフ・デザイン

2 主体的選択を社会で支える

- 「たばこフリー」オリンピックの実現
- 効果を実証されている予防（禁煙、ワクチンなど）の積極的推進、特に、重症化予防の徹底による医療費削減
- 健康の社会的決定要因を考慮したコミュニティやまちづくり

GLOBAL

HEALTH LEADER グローバル・ヘルス・リーダー

3 日本が世界の保健医療を牽引する

- 健康危機管理体制の確立
- ユニバーサル・ヘルス・カバレッジや医薬品等承認などのシステム構築の支援
- グローバル・ヘルスを担う人材の育成体制の整備

- **患者にとっての価値を考慮した保健医療 (Value-based healthcare):** 患者の価値は、臨床アウトカムのみならず早期退院やケアの負担軽減などを含む
- **「現場主導」の改革、規制から規律へ:** 国民の圧倒的な信頼を得ている医療専門職(医師・看護師・薬剤師等)の自律的な改革に期待したい
- **健康の社会的決定要因 (SDH: Social Determinants of Health)とコミュニティー:** 「自然に健康になれる」まちづくり。健康は個人の自己責任だけでは維持・増進できない
- **「社会システム」としての保健医療:** 保健医療課題は、保健医療的アプローチ「だけ」では解決できない。地域／総合政策が今後のカギ
- **「グローバル」課題としての保健医療:** グローバルではない保健医療課題はない。例) 医療介護連携、認知症施策、医薬品・ワクチン開発・製造の国際協調
- **組織論と人材育成:** 例) 厚生労働省の組織強化、医師のキャリアパスの多様化、公衆衛生、医療経済・政策学等の学際的な教育研究の加速、自治体の政策人材の育成

日本の強さ

- 医療保険、介護保険、高額療養費制度
- 水道、道路、ガス、電気などの高品質な生活インフラ
- がん治療など医療の劇的な進歩
- 健康的なライフスタイルや「Work Ethic」

過度に悲観したり不安になる必要はまったく無し

未来は必ず変えられる